

龍雲中学生としての心得

龍雲中学校の生徒である自覚と誇りを持って、自己を向上させる生活をしよう。

1 学校生活について

お互いが気持ちよく安全に学校生活を過ごすために、次のことを守りましょう。

- 学校開門時刻は、7：20で、8：05までに教室に入れるように登校する。
(※余裕をもって登校する。)
- 自ら進んであいさつをする。
- 登下校時は、交通規則を守り、寄り道などしない。
- 校時表を守り、真剣に学習活動等に励む。
- 学習に必要なもの以外は持ってこない。(※菓子類・マンガ本・ゲーム機・携帯電話等。)
- 公共物を大切に使い、校舎内外の環境美化に努める。
- 時と場所に応じた言動を心がけ、身だしなみにも注意をする。
- お互いの人権と相手を尊重した言葉遣いや行動をする。
- 委員・係の役割を責任を持って果たす。

2 家庭生活について

自己の生活をより充実させるために、中学生として正しい生活習慣を身につける。

- 家族を敬い、家庭での約束事を守る。
- 家族への思いやり、いたわりのある生活をする。
- 家族の一員としての役割を果たすとともに進んで家の手伝いをする。
- 外出の時は、行き先や帰宅時間を家族の人にはっきりと伝えておく。
- 夜間外出や無意味な外出はしないようにする。
- 家庭学習は、計画的に行う。
- 規則正しい生活をするように心がける。

3 校外生活について

社会の一員として、公衆道徳を守り、他人に迷惑をかけないようにする。

- 龍雲中学生としての自覚と誇りを持ち、言葉遣いや行動に気をつける。
- 危険な場所で遊んだり、友だち同士で金銭を伴う遊技場へ行ったりしない。
- 生徒だけで、外泊や夜間・早朝の外出をしない。(※友人宅での外泊はしない。)
- 交通規則を守って、安全に気をつける。
- 地域の人々に協力して、よりよい環境づくりに努める。
- 身の危険を感じたときは、警察・民家の人に助けを求める。

【身だしなみのきまり】

1 通学服

(1) 冬服 (令和8年度末までブレザーへの移行期間)

①ブレザーの場合

- 学校指定のブレザーを着用する。
- カッターシャツまたは、学校指定のニットシャツを着用する。
- ボタンは、龍雲中のものとする。

②詰襟学生服の場合

- 黒色で、標準マーク入りの学生服を着用する。
- ボタンは、龍雲中のものとする。

③セーラー服の場合

- 紺色の標準セーラー服を着用する。(襟と袖に白線3本) 胸当ては必ずつける。
- ネクタイを切ったり、短くしたりしない。(150 cm以上)



詰襟学生服



裾 シングル
OR ダブル

セーラー服



襟と袖に
白線3本



紺色スラックス

(2) 合服

市販の長袖・白色カッターシャツで両胸ポケットまたは左胸ポケット付きを着用する。また、白色長袖セーラー服も可とする。

(3) 夏服

半袖・白または紺色ニットシャツで、本校指定のものを着用する。また、市販の半袖・白色カッターシャツで両胸ポケットまたは左胸ポケット付きでもよい。



スラックス



スカート

【身だしなみのきまり】

(4) スラックスまたはスカート

- スラックスの長さはかかとまでとし、引きずるような長さにしない。
- スカートの丈は膝が隠れる程度とする。
- セーラー服の下は紺色のスカートまたはスラックスを着用。
※ 夏服・合服のカッターシャツの場合もよい

2 ベルト

- 黒・こげ茶・紺などの地味な色とし、基本的に穴通しベルトとし、バックルは派手でないものとする。

3 靴下

- 白・黒・紺・白または黒に足底が灰色とする。(内外にワンポイント可)

4 通学靴

- 白色一色の運動靴で、運動に適したもの。色つきライン・ロゴ入りでないものとする。
(※ハイカットシューズやデッキシューズは禁止)
- 上履きは、龍雲中指定のスクールサンダルとする。

5 寒いときにブレザーの下に着るもの

- セーター・ベスト・カーディガンをカッターシャツの上に着用することができる。色は、白・灰・紺・黒の一色柄とする。
- カッターシャツの下に白・灰・紺・黒などの地味な色のインナーを着ることもできる。首回りについては、襟から出ないハイネックまでとする。

6 頭髪

- 流行にとらわれず、清潔でさっぱりとした髪型とし、前髪は目にかからない程度の長さにする。
- 後ろ髪の長さは、肩に掛からない程度にし、長い髪は、黒・紺などの地味なゴムで後ろに一つか二つにくくる。
- 整髪料はつけず、パーマ・脱色・着色などはしない。

7 防寒着、防寒具について

- ウインドブレーカー等の着用を認める。(カバンの中・ロッカーの中に入るもの)(防寒着)
- ネックウォーマー・手袋については、登下校時の使用は可とする。(防寒具)